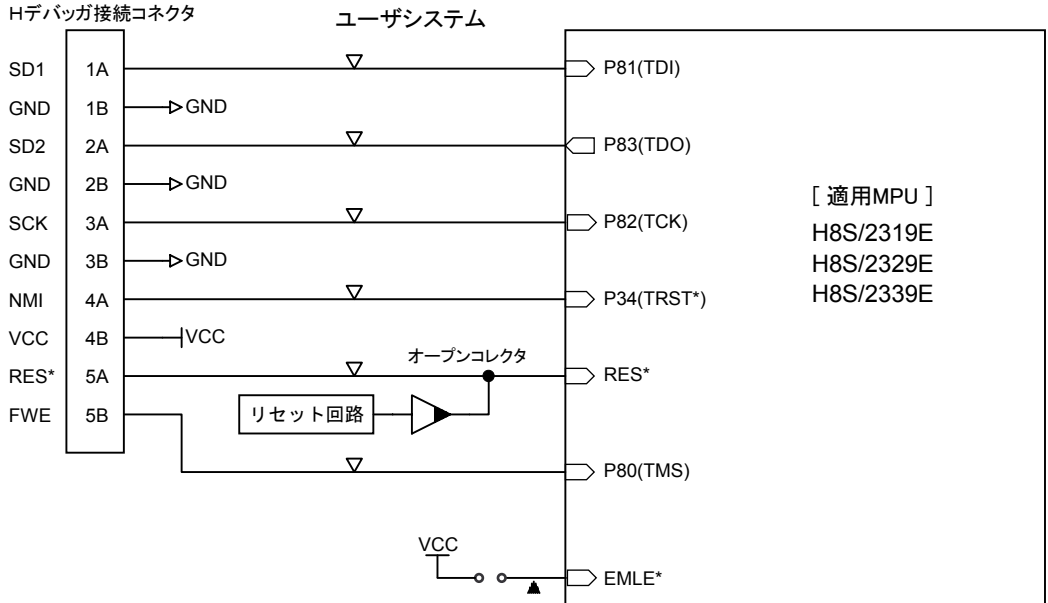


## 【接続例15】 H8S/2319E,2329E,2339Eの場合 (H-UDI接続)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です、▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になるハードを設計して下さい。
- 3) EMLEを切り替る回路(エミュレーション:HIGH 実動作:LOW)は、ユーザ側で用意して下さい。
- 4) H8S/2319E,2329Eの場合はカッコ内(TDI等)の信号を使用して下さい。
- 5) RES\*信号はH-debuggerから制御(出力)していますので入力になります。